

今、必要なのは

1. **休日**
2. **新しい挑戦**
3. **畜産アンバサダーの活躍**

オーストラリアで学んだこと

1. **週3日制**、乾季には**長期休暇**のトコもある。
2. 経営が厳しい酪農では、**農地に工場、頭数削減しチーズやチョコレートなど商品開発**。
3. **義務教育で農業の授業**を選択できる。

めいせ!

若者の**いっはいの農場!**

大島 那成

若者のびのび働けることが畜産業を元気にするきっかけに結びつく! 僕のように非農家でも農業に興味のある若者はいるが現状、始めたくてもやり方が分からない、始めたけど上手いかちやめてしまう... **たっつくさん!**

休むことが若者を救う!?

休みの間の空いた期間は雇用機会になります。新規で農業従事者が容れできたり、これから畜産業に関わる方への研修の場として活用できます。

独自の商品開発

付加価値による収益の増大で人件費を補い、さらなる雇用機会に寄与。畜産アンバサダーとして

広めることが最も重要!

